

ケニア森林資源の活用向上のため調査を開始

アジア新興国で実績のある生産性・安全性・耐久性の高い
木材加工技術を導入し、ケニア国の SDGs に貢献！
—株式会社ヒロタ(静岡県島田市)—

国際協力機構（JICA）は、株式会社ヒロタとの間で、本年7月に「ケニア国木材加工の効率化および高付加価値化による森林資源の有効活用のための案件化調査（中小企業支援型）」にかかる業務委託契約を締結しました。

ケニアにおいては、森林資源が住民の生活にとっても、産業においても重要な役割を果たしているものの、その管理・活用に課題を抱えています。木材の加工方法が非効率的であるため、森林資源は浪費されており、加工技術は低く製材品は低価格となり、結果、多くの輸入材に依存しています。よって、製材業者は低収入にあえぎ、伐採～植林の循環サイクルの阻害要因ともなっています。この課題に対して、株式会社ヒロタが提案する「帯鋸盤」を導入することで、製材歩留まりと品質・付加価値が向上し、高品質で安定的な木材品の供給及び製材業者の収入向上が実現し、森林資源が有効に活用されることで持続的な森林の活用循環が促進されることが期待されています。

本調査にて、株式会社ヒロタは森林管理分野における開発課題とそれに対する提案製品の貢献可能性を明らかにするとともに、提案製品の同国への普及のため製品の適合性、ビジネス展開に向けた各種調査を行います。同社は、これまでフィリピン、マレーシア、シンガポール、ベトナム、ラオスなどのアジア新興国を中心に海外向け製材プラント受注獲得に成功し、海外展開のノウハウを培ってきています。今回初めて、アフリカに進出します。

同社の提案する「帯鋸盤」は、①切断面に対する高い切断精度と製品の品質と歩留まり向上、②作業自動化による生産性向上、③オペレーターの安全性向上の特長を有しており、さらに競合製品に比して、標準品採用による部品交換・メンテナンスが容易で、製品の耐久性が高く長寿命化が可能でケニアへの導入に適しています。この提案技術が現地最適仕様に改良され、現地製材業者に普及することによって、ケニアの SDGsゴール 15 に貢献します。



写真1



写真2

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

<p>【本件に関する問い合わせ先】</p>	<p>日本の真ん中から世界へ</p>
<p>JICA 中部企業連携課 担当：滝本定司 TEL:052-533-1387 FAX:052-564-3751 E-mail : Takimoto.Sadaji@jica.go.jp</p>	<p>JICA 中部 https://www.jica.go.jp/chubu/index.html</p>